

今週（8月21日から8月25日）の短期金融市場動向

●インターバンク市場

今週のインターバンク市場は、当座預金残高が360兆円台前半での推移となった。無担保コールO/Nは、やや低調な地合いが続いており、大手行から▲0.086～▲0.08%での調達希望、信託業態で▲0.08～▲0.07%、地銀・証券業態で▲0.075～▲0.04%程度での調達となり、無担保コールO/N加重平均レートは▲0.05%台前半での推移となった。23日は証券業態から大規模な試し取りが行われたため、加重平均レートが▲0.04%に上昇した。ターム物は、ショートタームを中心に▲0.04%前後で複数の出会いが見られた。

固定金利方式の共通担保オペは24日に、2W・8,000億円がオファーされ、落札額1,932億円(期落ち額1,530億円)となった。

●レボ市場

今週のGC O/N物は、概ね▲0.105～▲0.090%程度の水準で推移した。21日のS/N(8/23-8/24)は▲0.105～▲0.095%程度での出会い。22日のS/N(8/24-8/25)、23日のS/N(8/25-8/28)、および24日のS/N(8/28-8/29)は▲0.100～▲0.090%程度での出会い。24日のS/Nは短国の発行日にあたったものの、投資家の旺盛なビッドニーズからレートは低位で安定した。25日のS/N(8/29-8/30)は、▲0.100～▲0.095%での出会い。日銀の国債買入オペのスタート日となったものの、レート低下は限定的だった。

SC個別銘柄では、5年130～132、10年336～347、20年158～161、30年51～55、40年8～10などカレント近辺の銘柄にビッドの出入りが多く見られた。

●短国市場

今週の短国市場は、短国買入オペが減額傾向にある中でも品薄感が強く、引き続き海外勢の旺盛な需要から、マーケットは強含みで推移した。

24日に実施された3M物の入札は、WI取引において▲0.141%から▲0.145%へ買い進まれる中、平均落札利回▲0.1463%、按分落札利回▲0.1423%と3M物としては今年3月23日の入札以来となる低金利での決着となった。セカンダリーでも、ショートカバーの動きから一時▲0.175%の出会いが見られ、▲0.165～▲0.16%でも取引が見られた。また、6M物および1Y物に関しても強含みで推移した。

25日は短国買入オペが2,500億円と、品薄感を反映して、事前予想よりも少額でオファーされた。平均落札利回較差▲0.026%、按分落札利回較差▲0.034%と強めの水準で決着した。

8月中の短国買入オペの合計オファー額は2兆7,500億円となり、8月末の日銀の短国買入残高は25兆6,842億円となることが見込まれ、7月末に日本銀行が示した25～27兆円程度の残高見込み内に収まった。

●CP市場

今週のCP市場は、夏期休暇明けでノンバンク・機械・商社からの大型案件が見られたものの、全体的に発行が大きく膨らむことはなく、償還総額4,800億円程度に対して、発行総額5,300億円程度の規模となった。前回のCP等買入オペでのレート的大幅低下を受けて、期越え物や発行頻度の低い銘柄を中心に、今後のCPオペを睨みながらレート低下余地を探る動きが見られた。また、期内物や大玉の案件については、キャッシュ潰しのニーズから引き続き0%付近での決着が中心であった。

●短期金融市場関連指標

	日経平均（円）	新発10年物 国債利回り（%）	為替 （ドル/円中心相場）	無担保コールO/N （加重平均・%）	東京レボレート（翌日物・ T+1スタート・%）	日銀当座預金残高 （億円）
8/21（月）	19,393.13	0.030	109.26	△ 0.053	△ 0.098	3,603,900
8/22（火）	19,383.84	0.035	109.25	△ 0.055	△ 0.101	3,626,600
8/23（水）	19,434.64	0.030	109.70	△ 0.040	△ 0.097	3,626,000
8/24（木）	19,353.77	0.020	109.18	△ 0.052	△ 0.095	3,612,800
8/25（金）	19,452.61	0.010	109.60	△ 0.055	△ 0.096	3,623,700

来週（8月28日から9月1日）の短期金融市場動向

●経済カレンダー

	国内主要経済指標	国債等入札予定			海外主要経済指標
8/28 (月)	月例経済報告（内閣府）				英国休日(Summer Bank Holiday)
8/29 (火)	7月の労働力調査(完全失業率 総務省 8:30) 7月の全世帯家計調査(総務省 8:30) 7月の一般職業紹介状況(=有効求人倍率 厚生労働省 8:30)	流動性供給 4,000億円 8/31発行			6月のS&P/ケース・シラー住宅価格指数 8月の米CB消費者信頼感指数
8/30 (水)	7月の商業動態統計速報(経済産業省 8:50)	交付税借入 10,500億円 9/7借入			4-6月期の米GDP改定値
8/31 (木)	愛媛県金融経済懇談会にて政井審議委員講演 7月の鉱工業生産・出荷・在庫速報(経済産業省 8:50) 7月の住宅着工統計(国土交通省 14:00)	TB3M 44,000億円 9/4発行	2Y 22,000億円 9/15発行		7月の米個人所得・消費支出 8月のシカゴPM景況感指数 8月のユーロ圏消費者物価指数速報値
9/1 (金)	4-6月期の法人企業統計調査季報(財務省 8:50) 8月の消費動向調査(内閣府 14:00)	交付税借入 10,500億円 9/11借入			8月の米雇用統計 8月のISM 製造業景況指数 7月の米建設支出

●資金需給予想

単位：億円	銀行券要因	財政等要因	資金過不足	オペ種類	期日分	新規実行分	オペ合計	実質過不足	需給要因
8/28 (月)	900	▲ 3,800	▲ 2,900	全店共通 CP買入 ETF買入	▲ 1,500 ▲ 300	1,900 1,000	1,100	▲ 1,800	TB3M発行▲44000償還41700 流動性供給▲5500 交付税借入▲10500期日10500
8/29 (火)	0	1,000	1,000	国債買入 短国買入 社債買入		5,100 2,500 1,000	8,600	9,600	
8/30 (水)	▲ 1,000	▲ 1,000	▲ 2,000				0	▲ 2,000	
8/31 (木)	▲ 700	▲ 4,000	▲ 4,700	CP買入		3,000	3,000	▲ 1,700	流動性供給▲4000
9/1 (金)	0	▲ 8,000	▲ 8,000	成長基盤	▲ 300		▲ 300	▲ 8,300	財政融資資金の回収
週 間 合 計	▲ 800	▲ 15,800	▲ 16,600	—	▲ 2,100	14,500	12,400	▲ 4,200	

8/28は日銀予想、8/29以降は当社予想

●短期金融市場の見通し

インターバンク市場は、大幅な資金過不足が無い中、無担保コールO/N加重平均レートは緩やかに低下することが予想される。月末日にあたる31日は資金の取り手が減少することが想定され、弱含みの展開となることが予想される。

レボ市場は、参加者のスタンスに大きな変化がなければ引き続きレートは低位で推移すると見られる。また、月末初のO/N(8/31-9/1)単体では若干のレート低下余地があると考えられる。

短国市場は、31日に3M物の入札が実施予定となっている。海外勢の動向次第ではあるものの、引き続き強い入札結果が続くことが予想される。

CP市場は、28日にCP等買入オペが予定されており、按分レートが低下基調を維持するかどうかが目される。また、月末週となるため、31日スタートを中心に発行量の増加が予想される。

主要なイベントとしては、30日の4-6月期の米国GDP改定値、31日の7月の米個人所得・消費支出、8月のユーロ圏CPI、1日の8月の米雇用統計などが挙げられる。

◆本資料は信頼できるとされる各種データに基づいて作成されておりますが、当社はその正確性、完全性を保証するものではありません。
◆本資料は何らかの取引を誘引することを目的としたものではありません。売買に関する最終判断はお客様に自身でなされまようようお願い申し上げます。
◆金融商品のお取引には価格変動等によりリスクがあります。金融商品のお取引には手数料等をご負担頂くものがあります。金融商品取引法に基づきお渡しする書面や目録見書をよくお読みください。

セントラル短資株式会社 登録金融機関関東財務局長（登金）第526号 日本証券業協会加入